

講義名	公共経営論			授業形態	
担当教員	植松 宏之	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
				ナンバリング・コード	RED381

主題と概要

近年、成長社会から成熟社会への移行、政府財政の逼迫などを背景として、行政の効果的・効率的な運営が求められており、公共サービス分野への民間経営手法の導入が拡がっている。そこで本講義では、まず「公共」とは何かを考え、「公共と私」の捉え方、公共の多様性、地域社会における公共の成立条件を理解するとともに、「公共の組織」と「公共のための組織」との組織論的な捉え方の違い、「政府」、「私企業」、「第3セクター」というそれぞれの組織の役割、効用と限界についても基本的な理解を深める。次に、「ガバナンス論」観点からの公共経営のあり方についての基本的理解を深める。具体的には、「ガバナンス」の概念と意義、ガバナンスの要素、部派、曖昧化、そして私的政府の形成と組織間関係（パートナーシップ、ネットワーク、コラボレーション）について解説する。

到達目標

「公共」とは何かを考え、『公共と私』の捉え方、公共の多様性などを理解できるようになる。
「公共の組織」と公共経営のあり方を理解できるようになる。
「NPO」や「New Public Management」といった新しいマネジメント方法を理解できるようになる。
日常から実施されている公営民営（指定管理者制度、コンセッション、PFI）などを理解できるようになる。

提出課題

授業で取上げた主題に関して、それぞれの理解度確認のための課題演習（レポート）を予定している。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

次の授業の際に、全体的な講評や解説を行う。

評価の基準

平常点（各回のレポート、課題演習）を30点、確認テスト（2回分）70点として、評価する。
講義の中で実施する前半と後半の2回の確認テストを受講することは必須とする。
定期試験は実施しません。

履修にあたっての注意・助言他

前半と後半に実施する確認テストは、講義室での筆記とする。講義で配布した講義資料は、持ち込みを可能とするが、スマホ及びパソコンの電子機器の持ち込みは不可とする。講義で学習した際、資料に書き込むなどの態度を身につけて欲しい。

教科書

.使用しない。

参考図書

.公共経営論。	田尾雅夫	木鐸社	4500	4833224240

その他

授業の際にプリントを配布する。参考文献があれば、授業時間に紹介する。

授業計画

- 1 公共と公共の組織：「公共とは何か」
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、公共の仕組みを予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 2 公共と公共の組織：公共の組織・政府という組織
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、公共の組織を予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 3 公共と公共の組織：公共の組織と経営：第3セクター
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、公共の経営を予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 4 ガバナンス(統治)：ガバナンスの概念と意義
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、公共のガバナンスを予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 5 ガバナンス(統治)：ガバナンスの要素、指標、曖昧化
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、社会のニーズにより変化するガバナンスを予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 6 ガバナンス(統治)：私的政府の形成と組織間関係：パートナーシップ、ネットワーク、コラボレーション
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、パートナーシップ(協働)を予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 7 ガバナンス(統治)：ローカル・ガバナンスと公共性概念の再構築
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、ローカル・ガバナンスを予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 8 前半部のまとめと確認テスト
予習内容：第1回から第7回までの講義資料と講義ノートを確認して、前半確認テストの準備を行う。（4時間）
9 公共サービス：公共サービスとは何か、サービス提供の仕組み
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、公共サービスを予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 10 公共サービス：発給のためのツール革新、そして適正な運用
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、NPOと連携するパートナーシップを予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 11 NPO論（その1）：公共性とボランティア活動の生成、NPOの一般的特性
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、NPOの概要を予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 12 NPO論（その2）：企業間、企業とNPO、行政とNPOにおけるパートナーシップ
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、NPOの概要を予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 13 ニュー・パブリックマネジメント(NPM)（その1）：理念・ビジョン・戦略
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、NPMの概要を予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 14 ニュー・パブリックマネジメント(NPM)（その2）：日本で実践する事例紹介
予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、日本で取り組まれている具体事例を予習する。（2時間）
復習内容：講義資料及び講義ノートを確認し、授業内容の理解を深める（2時間）
- 15 後半部のまとめと確認テスト
予習内容：第9回から第14回までの講義資料と講義ノートを確認して、後半確認テストの準備を行う。（4時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

経済学科共通のディプロマ・ポリシーは「人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎を身に付け、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題を提案することができる。」です。
この授業では、公共（行政）、企業（民間）、NPO等（中間組織）が協力して、現代社会の複雑な課題を成し遂げる方法を学習する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。梅田地区において、公共の組織・代表を務めた経験があり、現場の実務について解説をする。

備考